

3-2. 看護師

表9 博士希望<看護師等>

博士希望	人数	パーセント
是非希望	14	2%
出来れば	35	5%
関心あり	237	31%
希望しない	481	62%
合計	767	
未記入	2	

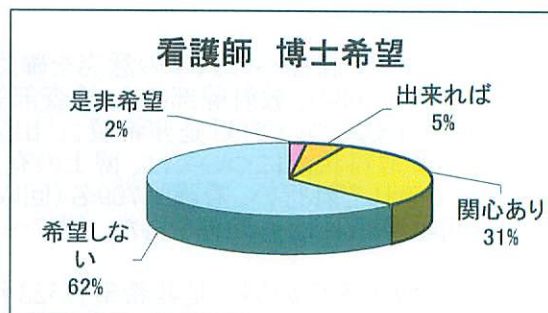
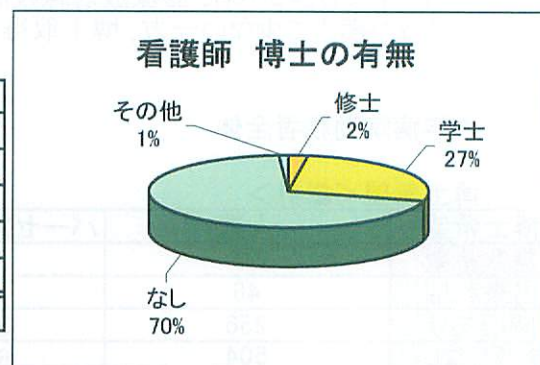


表10 博士の有無<看護師等>

博士の有無			人数	パーセント
博士の有無	あり	博士	0	0%
		修士	18	2%
	なし	学士	207	27%
		なし	535	70%
		その他	9	1%
合 計			769	



3-3. 診療放射線技師

表11 博士希望<診療放射線技師>

博士希望	人数	パーセント
是非希望	8	21%
出来れば	11	28%
関心あり	9	23%
希望しない	11	28%
合計	39	
未記入	0	

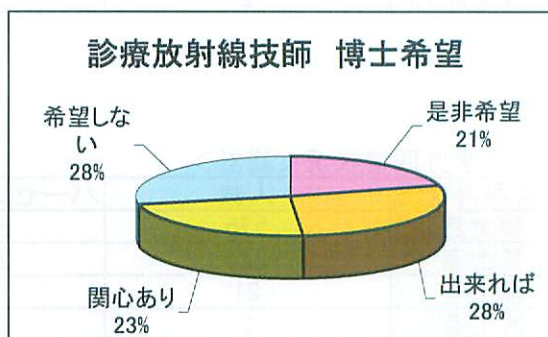
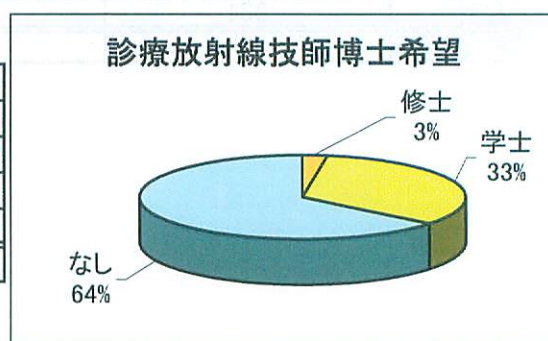


表12 博士の有無<診療放射線技師>

			人数	パーセント
博士の有無	あり	博士	0	0%
		修士	1	3%
		学士	13	33%
		なし	25	64%
合 計			39	



3-4. 臨床検査技師

表13 博士希望<臨床検査技師>

博士希望	人数	パーセント
是非希望	1	4%
出来れば	0	0%
関心あり	10	44%
希望しない	12	52%
合計	23	
未記入	0	

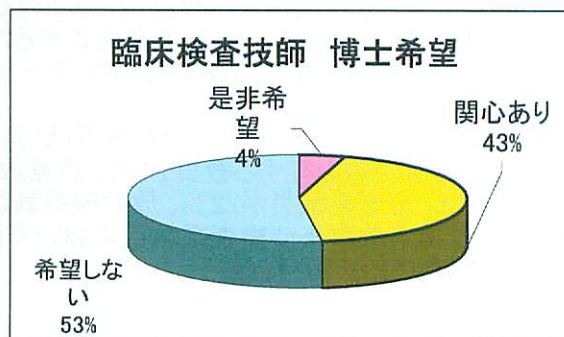
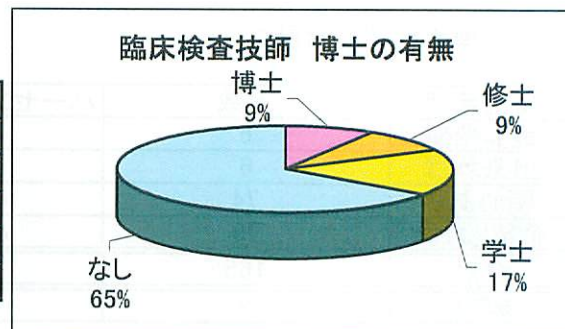


表14 博士の有無<臨床検査技師>

			人数	パーセント
博士の有無	あり	博士	2	9%
	なし	修士	2	9%
		学士	4	17%
		なし	15	65%
合 計			23	



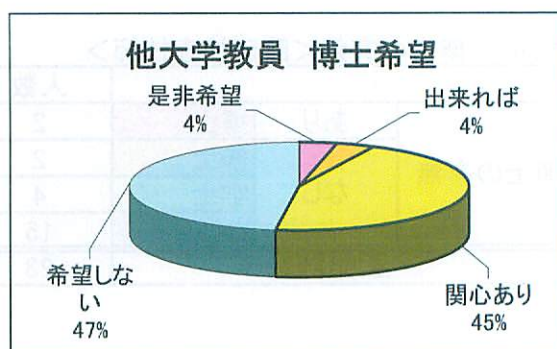
4. 他大学勤務者の博士課程進学希望等調査

他大学保健学系に勤務する教員（看護師免許、診療放射線技師免許又は臨床検査技師免許を有する教員）の本博士課程への入学の意向を確認するため、北海道、東北及び北関東地区の保健学を有する大学に勤務する教員を対象（1,228名）にアンケート調査を行った。

この結果、本博士課程への入学希望者は「是非希望」が6名、「出来れば」が6名、合計12名いた。（表15）内訳は看護師免許を有する教員11名、診療放射線技師免許を有する教員1名であった。また、博士取得率については、看護系教員が22%、放射線系教員が72%、検査系教員が38%であった。（表17・19・21）以上から、看護系教員及び検査系教員において博士取得率が低い一方、特に看護系教員において入学希望が顕著であることが示された。

表15 博士希望＜合計＞

博士希望	人数	パーセント
是非希望	6	4%
出来れば	6	4%
関心あり	74	45%
希望しない	79	48%
合計	165	
未記入	2	



4-1. 看護師免許を有する教員

表16 博士希望＜看護師等＞

博士希望	人数	パーセント
是非希望	5	3%
出来れば	6	4%
関心あり	73	45%
希望しない	77	48%
合計	161	
未記入	2	

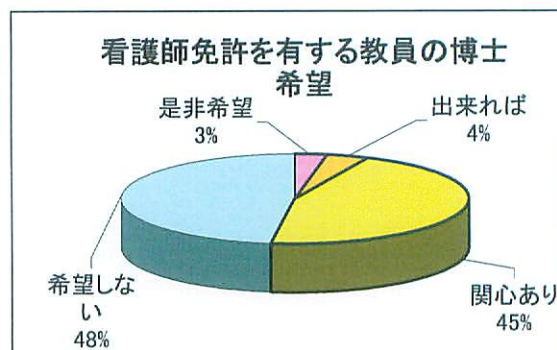
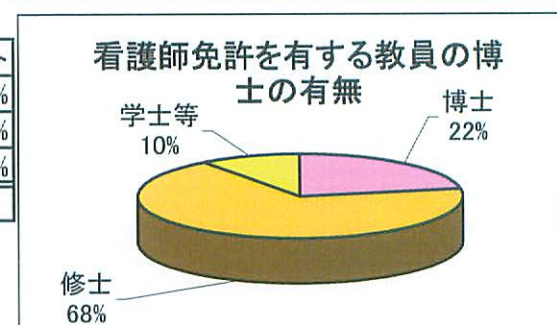


表17 博士の有無＜看護師等＞

			人数	パーセント
博士の有無	あり	博士	81	22%
	なし	修士	247	68%
		学士等	36	10%
合 計			364	



4-2. 診療放射線技師免許を有する教員

表18 博士希望<診療放射線技師>

博士希望	人数	パーセント
是非希望	1	50%
出来れば	0	0%
関心あり	0	0%
希望しない	1	50%
合計	2	
未記入	0	

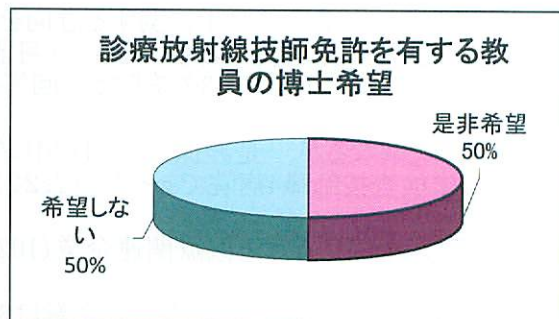
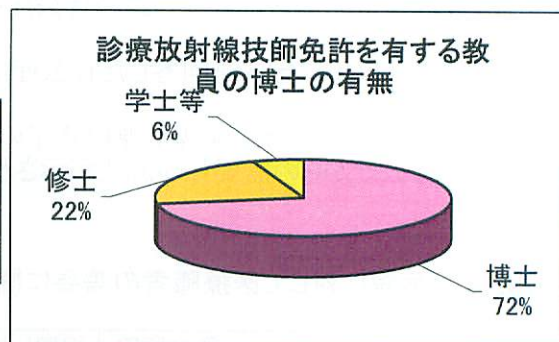


表19 博士の有無<診療放射線技師>

博士の有無			人数	パーセント
あり	博士		13	72%
	修士		4	22%
	学士等		1	6%
なし	博士			
	修士			
	学士等			
合計			18	



4-3. 臨床検査技師免許を有する教員

表20 博士希望<臨床検査技師>

博士希望	人数	パーセント
是非希望	0	0%
出来れば	0	0%
関心あり	1	50%
希望しない	1	50%
合計	2	
未記入	0	

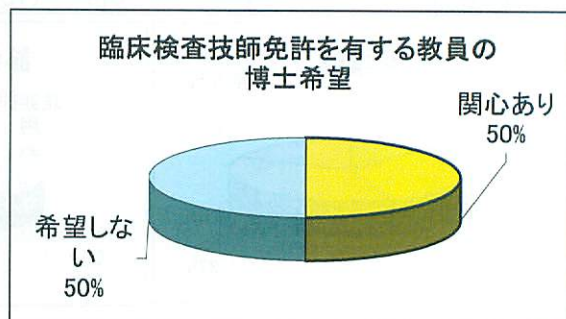
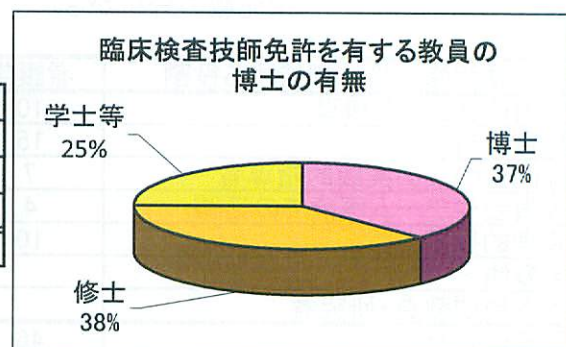


表21 博士の有無<臨床検査技師>

博士の有無			人数	パーセント
あり	博士		3	38%
	修士		3	38%
	学士等		2	24%
なし	博士			
	修士			
	学士等			
合計			8	



【出口調査】

本博士課程の修了者の雇用に関する意向を確認するため、東北地区の50の基幹病院(大学病院+大病院)に対して「是非採用」、「採用したい」、「可能性あり」、「わからない」の四段階のいずれかを回答する形式でアンケート調査を行った。43の病院から回答を得た(回収率86%)。

職種によって異なるが、「是非採用」、「採用したい」と回答した病院は看護職15病院、診療放射線技師職6病院、臨床検査技師職4病院であった。(表22)

また、同じく全国に存する医療関連企業(102社)へアンケートを送付し、12企業から回答を得た(回収率12%)。
「是非採用」、「採用したい」と回答した企業は3企業あった。(表23)

さらに、同じく東北地区に存する22の官公庁へアンケートを送付し、8官公庁から回答を得た(回収率36%)。
「是非採用」、「採用したい」と回答した官公庁は3官公庁あった。(表23)

以上の出口調査の結果、本博士課程修了の学生に対して多くの基幹病院において相当の需要があるほか、企業、官公庁からの需要もあることが示された。

表22-a 病院に対して医療職者の需要に関する調査

専攻名	(施設)			
	是非採用	採用したい	可能性あり	わからない
看護職	5 (19%)	10 (37%)	9 (33%)	3 (11%)
診療放射線技師	2 (9%)	4 (17%)	5 (22%)	12 (52%)
臨床検査技師	0	4 (15%)	9 (35%)	13 (50%)

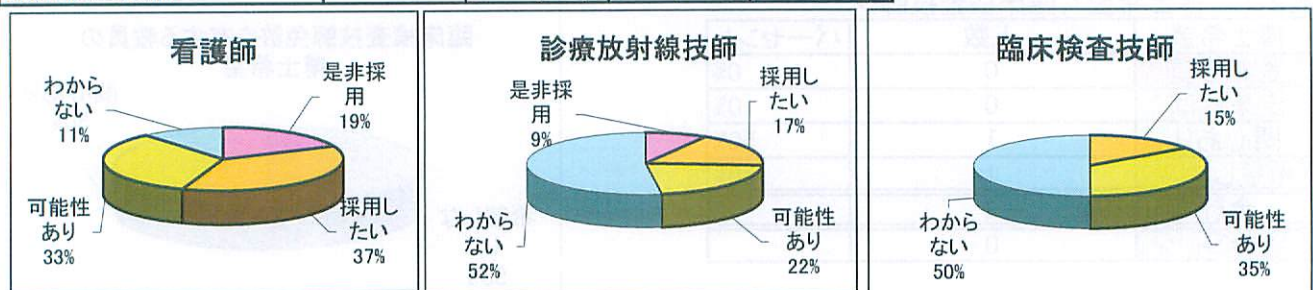


表22-b 出口調査(自由記載の分析から)

博士課程修了者に期待する役割	看護学	放射線	検査	計
院内研究とその指導	10	7	5	22 (20%)
教育担当	15	2	1	18 (17%)
専門性の高い実践的指導者	7	10	8	25 (23%)
委員会やチーム医療での活躍	4	3	6	13 (12%)
管理的役割	10	3	7	20 (19%)
その他		2	1	3 (3%)
教育機関教員・研究者		3	4	7 (6%)
回答数合計	46	30	32	108
有効回答(病院数)	24	18	21	63

(複数回答あり)

表22-c 進学希望への職場の対応

(施設)

専攻名	積極的に勧める	就学条件で勧める	専攻分野によって勧める	業務調整に課題あり	勧めない	わからない	その他
看護職	6 (22%)	6 (22%)	3 (11%)	9 (33%)	2 (7%)	0	1 (5%)
診療放射線技師	2 (9%)	4 (17%)	1 (4%)	12 (53%)	1 (4%)	2 (9%)	1 (4%)
臨床検査技師	3 (12%)	8 (31%)	1 (4%)	9 (34%)	0	5 (19%)	0

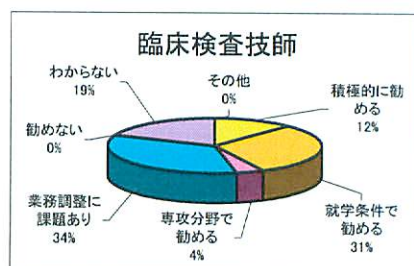
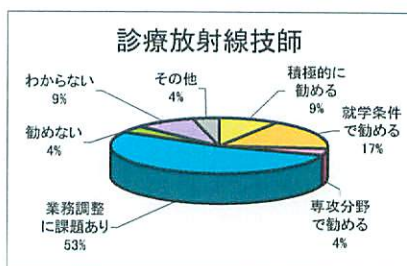
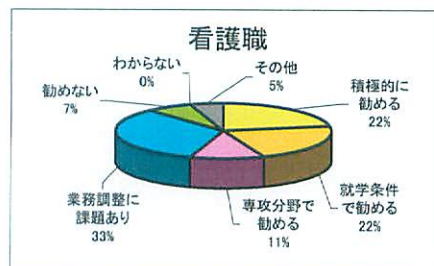
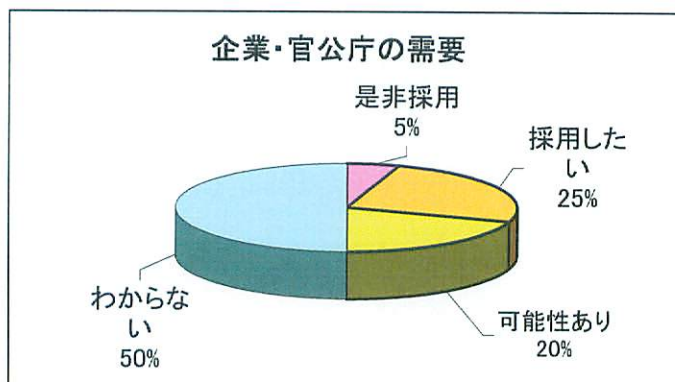


表23 企業・官公庁に対しての需要に関するアンケート調査

(機関)

区分	是非採用	採用したい	可能性あり	わからない
企業	1 (8%)	2 (17%)	2 (17%)	7 (58%)
官公庁	0	3 (38%)	2 (24%)	3 (38%)
合計	1 (5%)	5 (25%)	4 (20%)	10 (50%)



入学から修了後の進路まで

